2009年1月29日

『MITSUBISHI CHEMICAL JUINIOR DESIGNER AWARD 2009』 ~三菱化学がデザイナーの育成支援とデザインの振興を目的に協賛~

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林喜光)は、本年も、全国のデザイン系学生の優れた卒業制作を表彰する「MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2009」(主催:MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 実行委員会、委員長:水野誠一)に協賛します。なお、2009 年度より、株式会社三菱ケミカルホールディングスの協力も得ることとなりました。

「MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD」は、デザイナーの育成支援とデザインの振興を目的に毎年開催している、日本で唯一デザイン全般の卒業制作を対象とするコンペです。2008 年度は、残念ながら大賞該当作品なしという結果となりましたが、応募総数 202 作品から、佳作を 1 作品多く選出し、全 14 作品が受賞作品として選出されました。また、この結果には、作品のレベルは全体的に年々高くなっているものの、スケール感が小さく、器用にまとまりすぎた作品が多く、「若者らしい斬新で画期的な発想や勢いのある姿勢を応援したい」という審査員からのメッセージが込められています。

2006 年度より毎年開催している東京国際フォーラムでの受賞作品展は、若い才能に触れる機会を提供する場となり、子供から大人まで幅広い層の来場者から好評を博しました。また、これまでの受賞者は、大手家電メーカーや広告代理店など各方面で活躍しています。

当社は、幅広い素材に携わる企業として、「デザインは、人・製品・素材の間を取り持つソリューションである」という考えに基づき、学生時代の集大成でありプロへの第一歩でもある卒業制作を表彰する本アワードの協賛を 2006 年度から開始しました。本アワードを通じて、次代を担う逸材の発掘とデザイナーの卵たちの新鮮な感性と可能性を世に広める機会の創出に努めるとともに、今後グループ全体としてデザイナー(業界)とのネットワークも広げていきながら、マーケットのニーズに対する感度を更に高め、より社会の求めるソリューションを提供していくことにつながることを期待しています。

なお、2月12日より2009年度の作品募集を開始します。実施概要は、別紙をご参考ください。

[本件に関するお問い合わせ先] 三菱化学株式会社 広報・IR 室 TEL 03-6414-3730

[応募に関するお問い合わせ先] MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 事務局 TEL 03-5575-3226、FAX 03-5575-3222 E-mail <u>info@mcjda.jp</u> URL: http://www.m-kagaku.co.jp

MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 2009

(www.m-kagaku.co.jp)

実施概要

主 催: MITSUBISHI CHEMICAL JUNIOR DESIGNER AWARD 実行委員会

委員長:水野誠一/委員:石井幹子、榮久庵憲司、向井周太郎、冨澤龍一

特 別 協 賛: 三菱化学株式会社

協 力: 株式会社三菱ケミカルホールディングス

対象分野: プロダクト、グラフィック、ファッション、マルチメディア、パッケージ、

デザイン研究などのデザイン全般。

応募資格: 高等学校卒業後、日本で2年制以上のデザイン関連学校で修学し、2009年3月に卒業する

学生の卒業制作。また、高等専門学校卒業生も応募可能。

応募方法: 「応募フォーム」によるオンライン応募。

応募期間: 2009年2月12日から2009年5月31日まで。

審 査 員: 審査員長 水野 誠一(ソシアル・プロデューサー)

審査員 石井 幹子(照明デザイナー)

榮久庵 憲司 (インダストリアルデザイナー)

向井 周太郎 (武蔵野美術大学名誉教授、デザイン研究者)

柏木 博(武蔵野美術大学教授、美術評論家)

河 原 敏 文 (プロデューサー、ディレクター、CG アーティスト) 坂 井 直 樹 (ウォーターデザインスコープ代表、コンセプター)

都 築 響 一 (編集者)

日比野 克彦 (アーティスト)

茂木 健一郎(脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー)

特別審査員 冨澤 龍一(株式会社三菱ケミカルホールディングス代表取締役会長、

三菱化学株式会社取締役)

審 査 基 準: 独創性、デザイン性、機能性、実現性・経済性、社会への貢献

審 査 方 法: 上記審査員による一次審査(書類)、最終審査(プレゼンテーションパネルおよび実物

または模型)により決定

賞 典: 大賞 (1 作品) 賞牌と賞金 100 万円

佳作 (2 作品) 賞牌と賞金 30 万円 三菱化学賞 (1 作品) 賞牌と賞金 30 万円

審査員特別賞 (10 作品) 賞牌

スケジュール: 審査 2009年6月-9月

(予定) 受賞発表会 2009 年 11 月

受賞作品展 2009年11月、に都内で開催予定